

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 6 月 19 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2024 年 6 月 11 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア州立大学 ドミンゲス・ヒルズ校(日本語名) California State University Dominguez Hills(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	13000
創立年	1960

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	1400	210000 円	授業料以外の利用料等
宿舍費	9500	1425000 円	
食費	2700	405000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	50	7500 円	
携帯・インターネット費	200	30000 円	
現地交通費	600	90000 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	8000	1200000 円	
被服費	400	60000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1200	180000 円	形態：現地大学で加入必須であったもの
渡航旅費	2300	345000 円	
ビザ申請費	400	60000 円	
雑費	500	75000 円	
その他	100	15000 円	
その他		円	
合計	27350	4102500 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地: 関西国際空港 目的地: ロサンゼルス国際空港 経由地: なし

復路 出発地: シアトル・タコマ国際空港 目的地: 関西国際空港 経由地: 仁川国際空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: Japan Airline 料金: 181490円

復路 航空会社: Asiana Airline 料金: 1100ドル ∴ 合計: 346490 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名: 各エアラインのホームページ)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前:) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 6)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学のホームページに寮、大学アパートメントの紹介が載っているので事前にそれを見ておき、大学からメールで入居についてのお知らせが来た際に申し込みを行った。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

この大学には Dormitory と Apartmen の二種類の学生寮があり、どちらも一長一短があるためこれから入居を考えている人にはじっくり考えて欲しいが、個人的には Apartment がおすすめ。Dormitory は新しいビルのため綺麗で、共有スペース等に多くの人が集まるので同じ部屋ではない人ともコミュニティがしやすい。キッチンやシャワーは共有なので掃除をしなくても良いが不便でもある。Apartment は古く、コミュニティも同じ部屋のメンバーに限られる。日用品の購入や掃除は自分たちで行わなければならないが、Dormitory に比べキッチンやシャワーは比較的使いやすくプライバシーも守られている。部屋での自由度も高いと感じる。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

実際に被害にはあいませんでしたか、現地の友達に危ない場所を教えてもらい、そこに近づかないようにしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

日本でアメリカのe-simを購入し、空港内でアクティベートした。寮や大学内のWIFIは比較的繋がりがやすかったです。突然接続が悪くなることもありました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ソニー銀行という外貨にも対応している日本の銀行を開設した。そこに日本の親から振り込んでもらい、ソニー銀行アプリ内で米ドルに換えていた。また現地の友達と割り勘等をする際に送金が簡単にできるよう、現地の銀行口座も開設した。こちらの口座には日本の口座からATMで引き出した現金を入れていた。(日本の口座から直接送金すると手数料がよりかかるため)

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日焼け止め、メイク道具、薬類、日本だと100均等で買える便利グッズ(電子レンジでパスタが作れる容器等)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Cultural Anthropology	人類学の基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Ambyr Hardy
授業内容	人類学の基礎、考えについてビデオや文献を用いて学ぶ
試験・課題等	毎授業で課される課題と最終レポート
感想を自由記入	かなり課題が多く大変でしたが、教授が非常に優しく授業や課題で困ったことがあるとサポートしてくれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
World Perspective	世界の観点(政治学)
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	David E. Dixon
授業内容	世界各国の政治形態、社会情勢について学ぶ
試験・課題等	毎授業後の小テスト。研究したい国を一つ選び、それについての最終レポート
感想を自由記入	初めの頃は授業が聞き取れず、授業後の小テストに一問も回答できないことも多かった。ただ内容は興味深く教授も優しい人だったので、最終レポートでは良いグレードを貰えました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
The Individual in Society		社会における個人	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Levi Didley		
授業内容	社会調査の分析データに基づくアメリカの社会学		
試験・課題等	指定された文献を読み要約、分析レポート。授業で習った範囲に関する小テストと中間、定期テスト		
感想を自由記入	レポートの書き方が特殊でしたが質問しに行くと丁寧に教えてくれました。アメリカ国内の社会データが学べ興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Understanding Social Relationships in a Global Context		グローバルな文脈における社会的関係	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Adam Sanford		
授業内容	社会学者、社会学に関する学説を学ぶ。		
試験・課題等	文献をもとにレポートを作成し提出。		
感想を自由記入	毎授業でグループワークがあったのですが、教授の事情で途中から zoom での講義に切り替わり、グループの会話に参加することがより難しかったです。ただその中でも同じグループの生徒がサポートをしてくれました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Beginning Japanese II	日本語基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sachi Johnston
授業内容	日本語を学ぶ(私は教える側として参加していました)。
試験・課題等	小テスト。日本文化に関するビデオを鑑賞し感想を記入。日本語を教育することに関するレポート。
感想を自由記入	先生の勧めで生徒のサポートをする立場として参加しました。日本に興味のある学生が非常に多く、活発に質問等もしてくれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Pep Band	ペップバンド
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	アクティビティ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Chika Inoue
授業内容	ペップバンド(私はバスドラムを担当しました。)
試験・課題等	特になし。学内イベントやスポーツの試合等での演奏がありました。
感想を自由記入	ドラム経験はありませんでしたが、クラスメイトと共に練習をする中で一体感を味わうことができました。クラス内で友達もでき非常に楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
World History II	世界の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Sun-Hee Yoon
授業内容	世界の歴史、特に1490年代以降の近現代史
試験・課題等	毎授業前に指定された文献を読む。中間、期末エッセイ試験。
感想を自由記入	文献の量が多く専門的な言葉が多かったため、それに基づいて行われるグループワークが大変でしたが、授業内容が非常に面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
First and Third World Nation	第一、第三世界(政治学)
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	David E. Dixon
授業内容	世界各国の政治形態について歴史ベースで学習する。社会調査データの分析。
試験・課題等	授業後の小テスト。クラスメイトと共同でのデータ分析。
感想を自由記入	内容は少し難しくついていくのに苦労しましたが、教授のサポートもあり小テストとクラス内でのデータ分析は授業に参加していれば大変ではなかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Minority Racial and Ethnic Relations	人種的マイノリティー、民族的関係
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jose Prado
授業内容	人種問題に焦点をあてた社会学。
試験・課題等	文献を読み、その分析レポート。
感想を自由記入	クラスはディスカッションが中心で、自分の意見を主張する訓練になりました。内容も興味深く、人種による区別がなぜ生まれ差別が起こったのかについて考えることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Foundations In Women's Studies	女性学の基礎
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chanel Green
授業内容	ジェンダー問題や女性の権利に対する運動について
試験・課題等	文献をもとにした中間、最終レポート。社会問題をテーマにしたプレゼンテーション。
感想を自由記入	日本では聞きなじみのない科目名で、授業内容も興味深かったです。プレゼンテーションは準備等が大変でしたが興味のある分野だったので楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Pep Band		ペップバンド	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	アクティビティ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Chika Inoue		
授業内容	ペップバンドの演奏		
試験・課題など	特になし。試合やイベント等での演奏。		
感想を自由記入	秋学期に引き続いて履修したので共通の友達も多く良いコミュニティになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intramurals (Volleyball)		バレーボール	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	アクティビティ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Marc Maya		
授業内容	バレーボールの練習や、クラス内での試合		
試験・課題など	特になし。		
感想を自由記入	大学でできた友達と参加したのですが、クラス内で新しい出会いもあり、一つのコミュニティになりました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	提出書類の作成
留学開始年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	ビザ取得、航空券購入、予防接種、留学準備(履修登録、入居申請等)
	8 月 ~ 9 月	渡航
	10 月 ~ 12 月	期末試験
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	履修登録
	4 月 ~ 7 月	期末試験、航空券購入、帰国後提出書類の作成
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

この大学はそれほど大きくなく古い教室も多いのですが、比較的スーパーや都市部へのアクセスは良く、車がなくても生活がしやすい方だと感じました。また周りにビーチが多くテーマパーク等へも行きやすいため、友達との遊びといった学業外の経験もできる場所だと思います。授業は小規模なものが多く、先生とも距離が近くなりやすい環境だと感じました。母国語ではない言語で大学レベルの授業を受けるのは大変なことが多いですが、先生にサポートを求めるとたいてい課題や試験に関するアドバイスをくれたり授業中も気にかけてくれたりします。また日常生活において、友達を作ることが非常に難しく、コミュニケーションがうまく取れずへこむことは多かったです。ただコミュニティはクラスの中だけではなく様々な場所で作ることができるので、臆せず気になる人に話しかけてみたり、興味のあるようなクラブやボランティア、活動があればどんどん飛び込んでほしいと思います。特に初めのうちは慣れない環境で不安に押しつぶされそうになることも多いと思います。失敗しても日本に戻れば誰も知らないくらいの心持でたくさんの経験をしてきてください。